

国際センター駅北地区複合施設基本構想に関する懇話会について

1. 懇話会の目的

青葉山交流広場に整備する予定の音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点の複合施設に係る「(仮称)国際センター駅北地区複合施設基本構想」を策定するにあたり、複合施設としての理念や事業のあり方、施設的具体像等について、各分野の有識者の意見を踏まえた検討を行うことを目的とする。

2. 委員

(五十音順、敬称略)

所属・役職等	氏名
地域社会デザイン・ラボ 代表	遠藤 智栄
政策研究大学院大学 名誉教授	垣内 恵美子
東京文化会館 事業企画課長	梶 奈生子
東北大学災害科学国際研究所歴史文化遺産保全学分野 准教授	川内 淳史
仙台商工会議所 専務理事	今野 薫
尚絅学院大学 教授、仙台オペラ協会 芸術監督	佐藤 淳一
多摩美術大学情報デザイン学科 教授	港 千尋
東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 准教授	本江 正茂
日本大学 名誉教授	本杉 省三
株式会社巻組 代表取締役	渡邊 享子

3. 第1回懇話会の概要

日時：令和4年9月7日（水） 15時00分から

場所：仙台国際センター 展示棟 会議室3

議題：複合施設整備に係るこれまでの経緯について

複合施設のあり方・目指す方向性について 等

【主な委員発言】

- ・ 専門的・多様な人材配置、人材育成が重要。
- ・ 誰もが気軽に訪れる、親しみやすい施設に。
- ・ 仙台、青葉山という立地特性を生かし、周辺施設とも連携することが重要。
- ・ 音楽ホールは、地元の音楽関係者が待ち望んでいた2,000席規模で優れた音響性能を備えた施設に。
- ・ 震災メモリアル拠点は、震災の経験を伝えるとともに、「災害文化」の創造・定着に向けた施設に。
- ・ 2つの施設の魅力が掛け合わされた、仙台だからこそできる施設に。